

飼料作物の菌体肥料を使用した栽培と慣行栽培との生育比較

状況

島根県 東出雲町 下意東(高丸)地区

地区概要: 農地面積18.00ha(うち耕作放棄地6.14ha)
 荒廃の理由: 農業者の高齢化、後継者不在、鳥獣害
 荒廃の程度: 雑草が繁茂、樹木が侵入。重機による作業が必要
 全体調査の区分: 緑



再生作業前

取組概要

対象面積: 42a(水田)
 実施期間: 再生作業:平成22年1月～平成22年3月
 栽培実証:平成22年9月～平成23年4月
 取組のきっかけ: 所有者が亡くなられ、農地が荒れていることをたまたま協議会の事務局員が知り、草刈りでの再生を検討したが、抜根、湧水処理等が必要なことが判明した。そこに、農林水産省による実証ほ事業推進があり、事業を使用した農地の再生が可能であると判断した。
 調整経緯: 事務局で担い手を捜し借り受け者との調整を行った。
 取組主体: 東出雲町耕作放棄地対策協議会(PR等)
 作付けは農家へ委託
 取組作物: イタリアンライグラス
 作業内容: 雑草や樹木の刈払、整地、土壌改良、用排水整備(U字溝)、湧水処理、猪防除用電気柵の設置
 実証状況: イタリアンライグラスを作付け、菌体肥料を使用して栽培。
 出荷先: 畜産農家へ出荷。

今後の予定

来春まで菌体肥料を用いたイタリアンライグラスの栽培を行い、結果を取りまとめる。

再生状況



再生作業中(草刈)



イタリアンライグラス



実証ほの看板



再生作業後



栽培中



実証ほの看板

現状